

# サウンドクリエイター科

## 作曲・編曲コース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の時数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	38	38	必修	講義	○	76
	デビュー・就職実務Ⅰ	93		必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		55	必修	講義		-
	著作権		20	必修	講義		-
	PC実習	45		必修	実習		-
	選択授業	38	38	必修	講義		-
	異文化研究	22		必修	講義		-
	イベント制作実習A	134	110	必修	実習	○	244
	イベント制作実習B	301	305	必修	実習	○	606
	専門科目	MIDI基礎	38		必修	講義	○
楽曲アナライズ		38		必修	実習		-
レコーディング実習		38		必修	実習	○	38
作曲音楽理論Ⅰ		38		必修	講義	○	38
作曲音楽理論Ⅱ			38	選択必修	講義	○	38
作曲編曲実習Ⅰ		38		必修	実習	○	38
作曲編曲実習Ⅱ			38	選択必修	実習		-
コード楽器実技Ⅰ		38		必修	実習		-
コード楽器実技Ⅱ			38	選択必修	実習	○	38
作曲楽器学		19		必修	実習	○	19
ヴォーカルレコーディングA			38	選択必修	実習	○	38
ヴォーカルレコーディングB			38	選択必修	実習		-
CD制作実習		38	38	必修	実習	○	76
シンセサイザー概論			38	選択必修	講義	○	38
ミキシング実習			38	必修	実習	○	38
EDIT実習			38	選択必修	実習	○	38
コード理論			38	選択必修	実習	○	38
アレンジメント			38	選択必修	実習	○	38
作品制作			19	必修	実習	○	19
簡易PA実習			38	選択必修	実習	○	38
合計	総授業時間数	956					
合計	総授業時間数		851				合計
卒業時最少時間		1807					1534

- ※ 2年次「ヴォーカルレコーディングA」と「ヴォーカルレコーディングB」のどちらか1科目を選択
- ※ 2年次「コード楽器実技Ⅱ」と「作曲編曲実習Ⅱ」のどちらか1科目を選択
- ※ 2年次「シンセサイザー概論」と「EDIT実習」のどちらか1科目を選択
- ※ 2年次「コード理論」と「アレンジメント」のどちらか1科目を選択
- ※ 2年次「簡易PA実習」と「作曲音楽理論Ⅱ」のどちらか1科目を選択

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼びし、オムニバス形式で講義を行う。</p> <p>講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。</p> <p>到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし
成績評価	<p>課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。</p> <p>(2019年度例)</p> <p>エイベックス・エンタテインメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、oricon ME、株式会社エイスリー 等</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	93
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む                  基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。                  検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について
2	第1編3章 特別講師による講義・レポート提出
3	第1編1章、メールについて① 特別講師による講義・レポート提出
4	第1編3章、メール発信のフィードバック① 特別講師による講義・レポート提出
5	第1編3章、消費税について 特別講師による講義・レポート提出
6	第1編3章、名刺交換について 特別講師による講義・レポート提出
7	第2編3章、メールについて② 特別講師による講義・レポート提出
8	第2編3章、メール発信のフィードバック② 特別講師による講義・レポート提出
9	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名書きについて① 特別講師による講義・レポート提出
10	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名下記について② 特別講師による講義・レポート提出
11	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
12	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
13	第3編4章 特別講師による講義・レポート提出
14	社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
15	手紙の出し方の復習・郵送、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
16	郵送物のフィードバック、志望動機の書き方(将来の夢)について 特別講師による講義・レポート提出
17	志望動機のフィードバック 特別講師による講義・レポート提出
18	自己PRの書き方 特別講師による講義・レポート提出
19	履歴書の書き方① 特別講師による講義・レポート提出
20	履歴書の書き方② 特別講師による講義・レポート提出
21	履歴書の書き方③ 特別講師による講義・レポート提出
22	履歴書送付について、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
23	送付履歴書のフィードバック、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
24	模擬面接指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
25	特別講師による講義・レポート提出
26	進路面談・指導
27	労働条件セミナー、生活設計、模擬面接・指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	田中 史歩・永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望:「マンダラートシート」の作成 就職志望: I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「マンダラートシート」の作成
2	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。志望動機編 書き出しとフィードバック 就職志望:「マンダラートシート」フィードバック
3	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。自己PR編 書き出しとフィードバック 就職志望:①【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
4	アーティスト志望:プロフィール制作方法的の講義。 就職志望:②【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
5	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 校内イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:①【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
6	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
7	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
8	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
9	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:①活動状況報告と個別フィードバック
10	アーティスト志望:校外イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:【面接対策(印象)】
11	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 就職志望:【レピュテーション(評価)・リスクマネジメント】
12	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:【自己世代を知る】Z世代、ミレニアル世代とされる自身の職場に置かれるポジショニング
13	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②活動報告と個別フィードバック
14	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(社内編)
15	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(クライアント・ユーザー編)
16	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:③活動報告と個別フィードバック
17	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。世の中に目を向ける
18	アーティスト志望:企画制作/ゲネプロ 就職志望:②【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。発表とフィードバック
19	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:Ⅱ【目標設定と計画、自覚】「マンダラートシート」の返却と振り返り。

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

# SHOW！ 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	20
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用)
成績評価	<p>模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	45 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	<p>テキスト・問題集(Word・Excel共に) 自作のプリント</p>
成績評価	<p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。          科目数は毎年約30科目ほどである。          各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	各科目による
19	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による
成績評価	<p>※各科目によって異なる</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	22 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	134 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	110 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p>

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	301 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」等

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	305 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	MIDI基礎		実務授業の有無	○
担当講師	横山 喜次		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	<p>MIDI検定は1999年の第1回試験以来、これまでの著しい技術進歩により音楽制作の現場において、MIDIに加えAudioの知識が必須の状況となっている。このためMIDI検定3級ではMIDIの知識に加え、実際の音楽制作現場で必要とされるコンピュータやDAWの知識と楽典やデジタルオーディオに関する知識を有しているかを試されるものとなっている。</p> <p>この授業を通じて、今後の音楽制作のためのMIDIの知識習得と共に本検定取得を目指す。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業オリテ(学習の目当て、進行方法などの説明)。「音楽再生」と「音楽制作」の歴史、PCに関する知識(1)
2	PCに関する知識(2)、小テスト(1)
3	音楽制作にまつわるその他のハードウェア、ケーブルとコネクタの種類、MIDIの基礎知識、小テスト(2)
4	チャンネル・ボイス・メッセージ(1)
5	チャンネル・ボイス・メッセージ(2)、小テスト(3)
6	チャンネル・ボイス・メッセージ(3)
7	GM音源とスタンダードMIDIファイル、小テスト(4)
8	デジタルオーディオ、オーディオフォーマット、小テスト(5)
9	過去問による模擬試験(1)
10	MIDI検定3級試験範囲講義(1)
11	過去問による模擬試験(2)
12	MIDI検定3級試験範囲講義(2)
13	過去問による模擬試験(3)
14	MIDI検定3級試験範囲講義(3)
15	過去問による模擬試験(4)
16	MIDI検定3級試験範囲講義(4)
17	過去問による模擬試験(5)
18	MIDI検定3級試験範囲講義(5)
19	過去問による模擬試験(6)

教科書等	ミュージッククリエイターハンドブック MIDI検定WEBサイト上の過去問題
成績評価	授業内で行われる小テスト、過去問の結果及びMIDI検定3級試験結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟市を拠点に作曲家として活動中。 音楽電子事業協会主催 MIDI検定1級ライセンサ 同協会MIDI検定認定指導者

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	楽曲アナライズ		実務授業の有無	×
担当講師	金 相範		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	<p>編曲のクオリティー向上のため、様々な楽曲を分析しアレンジ方法を真似することで、そのスキルを自分のものにしていく。あらゆる楽器の音域・奏法などを実際耳で感じながらパソコンで再現できるよう学んでいく。Protoolsの使い方を身につけ、グランドコンサートでの同期セッション作りができるよう学習する。前期は主に「楽器毎の奏法学習とその聴き取り」、後期は「1曲を選曲し全楽器耳コピー作業」をメインとして学んでいく。この授業の目標は、最終的にプロの曲を1曲選んで、そのまま耳で聴き取り自分で再現し、その曲内に使われているあらゆる技術を習得していくことである。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業の内容・目標・グランドコンサートでの作曲編曲コースの役割を説明。 Protoolsの基本操作習得と、ヴォーカルラインを聴き取りMIDI入力を練習する。
2	ベースの音を聴き取り、再現する。 ベースのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
3	ドラムの太鼓系の音を聴き取り、再現する。 ドラムのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
4	ドラムの金物系の音を聴き取り、再現する。
5	ピアノの音を聴き取り、再現する。 ピアノのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
6	弦楽器の音を聴き取り、再現する。 弦楽器のフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
7	エレキギターを聴き取り、再現する。 エレキギターのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
8	管楽器の音を聴き取り、再現する。 管楽器のフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
9	シンセの音を聴き取り、再現する。 シンセのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
10	パッドの音を聴き取り、再現する。 パッドのフリー音源・高クオリティーの有料音源の紹介。
11	昨年度のグランドコンサートの中で、同期関連曲を聴いて、それぞれ1曲選び、耳コピー作業を開始する。 セッション作りや、Tempo、マーカーとトラック設定など基本的なセッティングを確認しアドバイス。
12	耳コピー作業を進める。 ベースラインの耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
13	耳コピー作業を進める。 ドラムの耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
14	耳コピー作業を進める。 パーカッションの耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
15	耳コピー作業を進める。 高域楽器の耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
16	耳コピー作業を進める。 中域楽器の耳コピー作業内容を確認しアドバイス。
17	耳コピー作業を進める。 聞き逃してる音を確認しアドバイス。
18	耳コピー作業を進める。 全体的なミキシングバランスとリバーブ具合を確認しアドバイス。
19	耳コピー作業を進める。 今までの作業内容を総合的に確認し、楽曲を完成できるようアドバイス。

教科書等	教科書は使用せず、毎回楽曲ファイルやプリントなどを配布する。
成績評価	課題レポート提出50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	レコーディング実習		実務授業の有無	○	
担当講師	井上 一郎		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	38	時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース	

授業概要	録音に関するいろはを学び、作曲編曲時にレコーディング技術を活用出来るようになる。主に、マイクの種類と役割、使用方法。レコーディングの基礎知識。これらを習得して行きながら、簡単なレコーディング実習を出来るようになることを目指す。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、F7th Studioについて
2	ヴォーカルレコーディングについて①
3	ヴォーカルレコーディングについて②
4	ヴォーカルエディットについて①
5	ヴォーカルエディットについて②
6	アコースティックギターレコーディングについて①
7	アコースティックギターレコーディングについて②
8	レコーディング実習①
9	前期まとめ、復習。
10	後期イントロダクション
11	ドラムレコーディングについて①
12	ドラムレコーディングについて②
13	ドラムエディットについて
14	レコーディング実習②
15	レコーディング実習③
16	レコーディング実習④
17	レコーディング実習⑤
18	レコーディング実習⑥
19	年間のまとめ、復習

教科書等	特になし
成績評価	課題に対する取り組み80%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	1987年～2003年、Studio TAKEONEにてアシスタントエンジニアとして勤務 2003年、故郷新潟にレコーディングスタジオを開設。2006年、株式会社エヌドライブ設立代表取締役。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲音楽理論 I		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	作曲・編曲に必要なハーモニー・スケールの基礎を習得し、メロディーやアレンジのアプローチを学ぶ。音楽の構造を理解することにより既存曲のアナライズ等、音楽研究が出来るようになり楽曲制作のクオリティを向上させる。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	音楽理論とは何か 音楽理論を学ぶ必要性 授業の趣旨
2	メジャースケールとキー インターバル(音の距離)
3	インターバル確認 基本コードの構造(3和音)
4	3和音の確認 基本コードの構造(4和音)
5	4和音の確認 コードの構造(応用)
6	コードの構造確認 コードの転回
7	キーと調号 ダイアトニックコード
8	ダイアトニックコードとコードスケール テンションノートとアボイドノート
9	ダイアトニックコードの機能とコード進行 ドミナントモーション ケーデンス/前期評価課題 まとめ
10	前期の確認
11	セカンダリードミナント
12	セカンダリードミナントを用いたメロディーのアプローチ
13	セカンダリードミナントを用いたコードアレンジ
14	マイナーキー ナチュラルマイナースケールとダイアトニックコード
15	ハーモニックマイナー・メロディックマイナーのスケールとダイアトニックコード
16	マイナーキーを用いた楽曲制作練習
17	モーダルインターチェンジ
18	モーダルインターチェンジを用いた楽曲制作練習
19	後期評価課題 まとめ

教科書等	なし
成績評価	課題提出50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲音楽理論 II		実務授業の有無	○
担当講師	真柄 伸彬		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	<p>1年次に習得したポピュラー音楽理論を踏まえ、より深い理解への到達と作新たな音楽理論の知識を習得してもらう。楽譜による譜例紹介及びポピュラー楽曲の分析などを行い音楽理論への理解を深めていく。各回で音楽理論についての講義を行い、その後実践として紹介した音楽理論を利用した短い曲を各自DAWソフトウェアで制作してもらう。また、知識の定着を図るため適宜テキストの問題演習も行う。各期最終回に期末筆記考査を行う。作曲・編曲や楽曲分析の一助として活用してもらうことが最終的なねらいである。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業概要説明、ガイダンス／①-1 テンション／テンションの名称と分類、テンション・コード、テンション・リゾルブ
2	①-2 テンション／テンション・サウンドの基本的な構成、アレンジ上のボイスング
3	②-1 平行・同主調関係と特殊な実用和音／平行・同主調間転調（音階和音内）、短調での特殊な実用和音
4	②-2 平行・同主調関係と特殊な実用和音／サブドミナント・マイナー・コードとその代理和音
5	③-1 セカンダリー・ドミナント・コード／セカンダリー・ドミナント・コードの特殊な用法、広い意味でのトゥー・ファイブ
6	④-1 代理和音／トニック、サブドミナント、ドミナント・コードの代理和音と偽終止
7	④-2 代理和音／トニック、サブドミナント、ドミナント・コードの代理和音と偽終止
8	⑤-1 経過和音／パッシング・ディミニッシュ・コード
9	期末考査
10	後期授業概要説明、ガイダンス／① 経過和音／平行和音、変化和音、ドミナント・モーションの応用
11	②コード・スケールについて、チャーチ・モード・スケール、スケールの相互関係
12	③ディミニッシュ・スケールとディミニッシュ・コード／2種のディミニッシュ・スケール
13	④ドミナント・スケール／ドミナント7thスケールとオルタード・ドミナント・スケール、ドミナント・スケールの相互関係
14	⑤その他のスケール／ペントニック・スケール、ブルース・スケール、クロマティックスケール、その他民族的スケール
15	⑥調性に基づくコード・スケールの考え方／テンション・ノートとアポイド・ノート
16	⑦代理関係に基づくコード・スケールの考え方／アポイド・ノートの共通性
17	⑧後続するコードに基づくコード・スケールの考え方
18	モード的作曲法／キャラクタースティック・ノート（特性音）
19	期末考査

教科書等	<p>「ポピュラー音楽理論」北川祐 編著、リットーミュージック出版                  「決定版 音楽理論ワークブック」北川祐 編著、リットーミュージック出版</p>
成績評価	<p>期末筆記考査60%、制作課題20%、授業態度および学習意欲20%                  成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>新潟市を拠点に作曲家として10年活動中。</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲編曲実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	真柄 伸彬		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	DTMでの音楽制作に取り組んでもらうため、DAWにおける音源制作の一通りの作業を理解し習得してもらう。DAWの基礎知識や必要な機材について紹介し、音楽の3要素を意識した作曲の心構えや、メロディー作りのポイントであるモチーフ、フレージングについて講義を行う。その後、MIDI打ち込みによるメロディー制作やコード進行制作の演習を行う。避けては通れない、必要最低限の基本的な音楽理論も扱う。各自がオリジナル楽曲の音源を制作できるようになる事が目標である。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業概要説明、ガイダンス／DTM・DAWの基礎知識と音楽制作フローについて／DTMに必要な機材とは
2	作曲の手法、メロディーの作り方／モチーフとフレーズ／キーとスケール
3	メロディー制作実習
4	ハーモニー：コードの基礎知識、コード進行の制作
5	コード進行制作実習
6	リズム：リズムの概念と種類、リズムアレンジ
7	リズム(ドラムビート)制作実習
8	オリジナル楽曲制作①
9	オリジナル楽曲制作②
10	後期授業概要説明、ガイダンス／プロユースのDTM機材とソフトウェア・プラグインについて
11	ポピュラーアレンジ：バンドサウンド・アレンジメント／①ベース・アレンジ
12	①ベース・アレンジ実習
13	ポピュラーアレンジ：バンドサウンド・アレンジメント／②ドラムス・アレンジ
14	②ドラムス・アレンジ実習
15	ポピュラーアレンジ：バンドサウンド・アレンジメント／③-1エレクトリックギター・アレンジ
16	③-1エレクトリックギター・アレンジ実習
17	ポピュラーアレンジ：バンドサウンド・アレンジメント／③-2アコースティックギター・アレンジ
18	③-2アコースティックギター・アレンジ実習
19	オリジナル楽曲制作③

教科書等	なし
成績評価	制作課題60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟市を拠点に作曲家として10年活動中。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲編曲実習Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	金 相範		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	<p>作編曲のクオリティー向上のため、メロディーメイキング・アレンジ奏法を学習し、実習していく。コードに合うヴォーカル・ギターソロ・バイオリンソロメロディーなどを作ってみることでメロディーセンスを磨いていく。それぞれ独自のコード進行を作りアレンジすることで編曲のスキルを上げていく。主に前期には「メロディーメイキング・コード進行研究・アレンジ奏法習得」を、後期には「コンペ対策・オリジナル曲制作」を実習していく。この授業の目標はプロのクオリティーに近づくため必要な様々な知識とセンスを身に付けることである。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	メロディーメイキング：①ギターソロメイキング
2	メロディーメイキング：②バイオリンソロメイキング
3	メロディーメイキング：③ヴォーカル・コーラスメイキング
4	コード進行研究：①定番コード進行応用
5	コード進行研究：②パワーコード応用・sus4活用
6	コード進行研究：③7th以上のコード応用・テンション活用
7	コード進行研究：④aug・dim・裏コード応用
8	アレンジ奏法習得：アルペジオ・分散和音・オクターブ
9	アレンジ奏法習得：グリッサンド・トレモロ・スタカトゥー
10	コンペ対策・オリジナル曲制作
11	コンペ対策・オリジナル曲制作
12	コンペ対策・オリジナル曲制作
13	コンペ対策・オリジナル曲制作
14	コンペ対策・オリジナル曲制作
15	コンペ対策・オリジナル曲制作
16	コンペ対策・オリジナル曲制作
17	コンペ対策・オリジナル曲制作
18	コンペ対策・オリジナル曲制作
19	コンペ対策・オリジナル曲制作

教科書等	教科書は使用せず、毎回セッションファイルやプリントなどを配布する。
成績評価	課題レポート提出50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	コード楽器実技 I		実務授業の有無	×
担当講師	佐藤 和音／古俣 敦也		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	サウンドクリエイター科		総授業時間	38 時間
			対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	シンガーソングライターに必要なピアノ・ギターの演奏技術を学び、自身の楽曲制作に生かせるようにする。 また、演奏技術のレベルアップとともに音楽理論を交えた楽曲制作も授業内で行い、オリジナル楽曲制作につなげられる内容とする。			
------	---	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ピアノ: 授業内容説明／毎日できる基礎練習紹介 ギター: 授業内容説明、チューニング、コードについて
2	ピアノ: メジャーコードの種類・弾き方・転回系 ギター: 課題曲(やさしさに包まれたなら)、ピック弾き、ストローク
3	ピアノ: メジャーコードの種類・弾き方・転回系 ギター: 課題曲(やさしさに包まれたなら)、ピック弾き、ストローク
4	ピアノ: マイナーコードの種類・弾き方・転回系 ギター: コードの構成、音階練習
5	ピアノ: マイナーコードの種類・弾き方・転回系 ギター: コードの構成、音階練習
6	ピアノ: 4和音 デミニッシュコード ギター: 課題曲(やさしさに包まれたなら)、指弾き、アルペジオ
7	ピアノ: メジャーダイアトニックコードについて→使用した楽曲のコード進行 ギター: ダイアトニックコードについて、コード進行
8	ピアノ: マイナーダイアトニックコードについて→使用した楽曲のコード進行 ギター: ダイアトニックコードについて、コード進行
9	ピアノ: 前期テスト(音階練習／ハノン) ギター: 前期テスト(やさしさに包まれたなら)
10	ピアノ: 後期授業内容説明／音階練習／ハノン ギター: 後期授業内容説明／運指、アルペジオ
11	ピアノ: ダイアトニックコードを使用したコード進行制作・メロディ付け ギター: ダイアトニックコードを使ってコード進行作成、メロディー作成
12	ピアノ: ダイアトニックコードを使用したコード進行制作・メロディ付け ギター: ダイアトニックコードを使ってコード進行作成、メロディー作成
13	ピアノ: ダイアトニックコードを使用したコード進行制作・メロディ付け ギター: ダイアトニックコードを使ってコード進行作成、メロディー作成
14	ピアノ: 上記楽曲に対しての代理コードの提案、練習 ギター: 特殊な奏法でオリエンテーション(スラム、スラップ、ハーモニクス、ソロギターなど)
15	ピアノ: 基礎練習／楽曲練習 ギター: 楽曲練習
16	ピアノ: 基礎練習／楽曲練習 ギター: 楽曲練習
17	ピアノ: 基礎練習／楽曲練習 ギター: 楽曲練習
18	ピアノ: 基礎練習／楽曲練習 ギター: 楽曲練習
19	ピアノ: 後期テスト(制作した楽曲の発表) ギター: 後期テスト(楽曲披露)

教科書等	ピアノ: 全訳ハノンピアノ教本 全音ピアノライブラリー ギター: 特になし
成績評価	授業態度および学習意欲50%、テスト成績50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	コード楽器実技Ⅱ		実務授業の有無	○	
担当講師	佐藤 和音／山崎 亮		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	選択必修	
対象学年	2	年	総授業時間	38	時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース	

授業概要	シンガーソングライターに必要なピアノ・ギターの演奏技術を学び、自身の楽曲制作に生かせるようにする。 また、演奏技術のレベルアップとともに音楽理論を交えた楽曲制作も授業内で行い、オリジナル楽曲制作につなげられる内容とする。				
------	---	--	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ピアノ:授業内容説明／毎日できる基礎練習紹介 ギター:授業内容説明／基礎練習
2	ピアノ:メジャーコードの種類・弾き方・転回系 ギター:コード練習 様々なコードの押さえ方 コード名と押弦の把握
3	ピアノ:メジャーコードの種類・弾き方・転回系 ギター:オープンコードを多用したコード進行 Cメジャー ダイアトニックコードとコードアレンジ
4	ピアノ:マイナーコードの種類・弾き方・転回系 ギター:オープンコードを多用したコード進行 Aマイナー ダイアトニックコードとコードアレンジ
5	ピアノ:マイナーコードの種類・弾き方・転回系 ギター:オープンコードを多用したコード進行 Gメジャー ダイアトニックコードとコードアレンジ
6	ピアノ:4和音 デミニッシュコード ギター:オープンコードを多用したコード進行 Eマイナー ダイアトニックコードとコードアレンジ
7	ピアノ:メジャーダイアトニックコードについて→使用した楽曲のコード進行 ギター:オープンコードを多用したコード進行 Eメジャー ダイアトニックコードとコードアレンジ
8	ピアノ:マイナーダイアトニックコードについて→使用した楽曲のコード進行 ギター:オープンコードを多用したコード進行 C#マイナー ダイアトニックコードとコードアレンジ
9	ピアノ:前期テスト(音階練習／ハノン) ギター:キー別コード進行の作成とアレンジ 制作内容発表 前期まとめ
10	ピアノ:後期授業内容説明／音階練習／ハノン ギター:後期授業内容説明／ダイアトニックコードを使用したコード進行・メロディー制作
11	ピアノ:ダイアトニックコードを使用したコード進行制作・メロディ付け ギター:ダイアトニックコードを使用したコード進行・メロディー制作
12	ピアノ:ダイアトニックコードを使用したコード進行制作・メロディ付け ギター:ダイアトニックコードを使用したコード進行・メロディー制作
13	ピアノ:ダイアトニックコードを使用したコード進行制作・メロディ付け ギター:ダイアトニックコードを使用したコード進行・メロディー制作
14	ピアノ:上記楽曲に対しての代理コードの提案、練習 ギター:上記楽曲のコードアレンジ・演奏アレンジ
15	ピアノ:基礎練習／楽曲練習 ギター:上記楽曲のコードアレンジ・演奏アレンジ
16	ピアノ:基礎練習／楽曲練習 ギター:オリジナル楽曲制作・アレンジ
17	ピアノ:基礎練習／楽曲練習 ギター:オリジナル楽曲制作・アレンジ
18	ピアノ:基礎練習／楽曲練習 ギター:オリジナル楽曲制作・アレンジ
19	ピアノ:後期テスト(制作した楽曲の発表) ギター:オリジナル楽曲発表 後期まとめ

教科書等	ピアノ:全訳ハノンピアノ教本 全音ピアノライブラリー ギター:特になし
成績評価	授業態度および学習意欲50%、テスト成績50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	佐藤:ピアノ&ヴォーカルユニット「Cacis」のピアニスト・作曲家として新潟県を中心に13年活動中。 山崎:東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲楽器学		実務授業の有無	○
担当講師	中野 大輔		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	19 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	<p>主に作曲で使用する「生楽器」について、実際に触り、演奏し、経験させる。 打ち込みで再現できるもの、できないものの違いを理解した上で作曲してもらうという目的。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	■イントロダクション(各楽器についての紹介)
2	■楽器概要(ドラム)演奏方法・音色・演奏体験
3	■楽器概要(ギター)演奏方法・音色・演奏体験
4	■楽器概要(ベース)演奏方法・音色・演奏体験
5	■楽器概要(ピアノ・キーボード)演奏方法・音色・演奏体験
6	■楽器概要(パーカッション等その他の楽器)演奏方法・音色・演奏体験
7	■演奏実践練習(楽器を一つ決め実際に演奏練習)
8	■演奏実践練習
9	■演奏実践練習
10	■イントロダクション(前期授業の復習)
11	■演奏再現実習(実際に演奏したワンフレーズをDAW上で打ち込み、再現度を確認する)
12	■演奏再現実習(実際に演奏したワンフレーズをDAW上で打ち込み、再現度を確認する)
13	■演奏再現実習
14	■演奏再現実習
15	■音楽ジャンルから見る楽器達(ジャンル別で使用されている楽器を知る)
16	■変拍子・可変拍子の楽曲紹介(何拍子なのか、どこで拍子が変わったのかを知る)
17	■「盗作」と呼ばれない為の曲作り(実際にあった出来事を楽曲と共に紹介)
18	■歌詞とメロディが違う楽曲紹介(実際に聴音してもらい、聴音の技術を向上させる)
19	■楽曲紹介(各々が知っている面白い楽曲を発表、プレゼン)

教科書等	なし
成績評価	<p>最終授業課題提出50%、授業態度および学習意欲50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>秋葉区初の音楽スタジオ「中野スタジオ」オーナー 2015年 Niigata KENTO'S Bandのドラマーに就任 PA音響・ドラム講師・楽曲制作・レコーディングエンジニア等多岐に渡り活動中。</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカルレコーディングA		実務授業の有無	○
担当講師	マクレーン有美		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	<p>実際のレコーディングを通して、コンデンサーマイクでのヴォーカリング、ヘッドフォン(イヤフォン)を使っでのモニタリングやキューボックスの操作に慣れ、自分にとって歌いやすいセットアップ法を学ぶ 録音した歌に対しディレクションを行い、より洗練されたデモを仕上げていく 声の特性や表現の細部まで、新たな発見の場となる</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、選曲のポイント説明、目的を明確にし、目標を立てる
2	レコーディング
3	レコーディング
4	レコーディング
5	レコーディング
6	レコーディング
7	レコーディング
8	レコーディング
9	レコーディング
10	レコーディング
11	レコーディング
12	レコーディング
13	レコーディング
14	レコーディング
15	レコーディング
16	レコーディング
17	レコーディング
18	レコーディング
19	作品視聴会
20	

教科書等	なし
成績評価	<p>授業態度および学習意欲70%、デモ音源評価30%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>ヴォイストレーナー歴21年 多くアーティスト、アイドルを指導、ライブパフォーマンス、レコーディングディレクション行う ニューヨーク、ロサンゼルス、日本にてヴォイストレーニングを受講 自らもアーティスト活動でメジャーデビュー、それに伴うプロモーション活動全般を経験</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカルレコーディングB		実務授業の有無	×
担当講師	金 相範		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	<p>ヴォーカルのレコーディング、ピッチ修正、音量調整、プレス調整、ミキシングなどヴォーカルトラックを音源に馴染ませるため必要なあらゆる技術を身につけていく。プロの楽曲に使われているヴォーカルトラックの細かな表情を一つ一つキャッチし、再現できるよう構築してみる。ヴォーカルトラックに対してコーラスはどうやって動いているのかを把握し研究していく。この授業の目標は、グランドコンサートでの同期楽曲制作と自分のオリジナル楽曲制作の際に作曲家自らヴォーカルをレコーディングできるように学習することである。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	既存曲のヴォーカルトラック分析
2	ヴォーカルレコーディング
3	ヴォーカルレコーディング
4	ピッチ修正
5	音量調整
6	プレス調整
7	リバーブ・ディレイ調整
8	イコーライジング・ミキシング
9	楽曲完成
10	作曲編曲実習と連携し、自分のオリジナル楽曲のヴォーカルトラック作り
11	作曲編曲実習と連携し、自分のオリジナル楽曲のヴォーカルトラック作り
12	作曲編曲実習と連携し、自分のオリジナル楽曲のヴォーカルトラック作り
13	作曲編曲実習と連携し、自分のオリジナル楽曲のヴォーカルトラック作り
14	作曲編曲実習と連携し、自分のオリジナル楽曲のヴォーカルトラック作り
15	作曲編曲実習と連携し、自分のオリジナル楽曲のコーラストラック作り
16	作曲編曲実習と連携し、自分のオリジナル楽曲のコーラストラック作り
17	作曲編曲実習と連携し、自分のオリジナル楽曲のコーラストラック作り
18	作曲編曲実習と連携し、自分のオリジナル楽曲のコーラストラック作り
19	楽曲完成

教科書等	教科書は使用せず、毎回セッションファイルやプリントなどを配布する。
成績評価	課題レポート提出50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	CD制作実習		実務授業の有無	○
担当講師	真柄 伸彬		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	<p>本校のライブイベント「Summer Review」及び「Grand Concert」に向けて、オリジナル作品を収録した1枚のコンピレーションCDを共同制作し、配布してもらう。楽曲制作からCD制作～配布まで学生自身が行うことで、1枚のCDが聞き手に届くまでの流れを体感してもらう。学生たちが決める一つの大きなテーマに基づき、一人一人が曲を作り完成後提出してもらう。CD制作・テーマに沿った楽曲制作に関するアドバイスを講義形式で行いつつ、その後各自楽曲制作の時間とする。テーマに合う音楽表現ができるようになることが到達目標である。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業概要説明、ガイダンス／CD制作の流れについて／楽曲制作(1)
2	CDコンセプト・テーマについてのミーティング／各自の楽曲テーマ決め／楽曲制作(2)
3	CDタイトル、デザインコンセプトについてのミーティング／楽曲制作(3)
4	CDデザインコンセプトについてのミーティング／楽曲制作(4)
5	ミーティング／楽曲制作(5)
6	ミーティング／楽曲制作(6)
7	ミーティング／楽曲制作(7)
8	楽曲聞き合わせ・意見交換／ミーティング／楽曲制作(8)
9	最終楽曲聞き合わせ、完成楽曲の提出
10	授業概要説明、ガイダンス／BGMの作曲法1「BGMと利用例」／課題曲1要項紹介、楽曲制作1-(1)
11	BGMの作曲法2「コードとスケール・調性感をぼかすアレンジ」／楽曲制作1-(2)
12	BGMの作曲法3「ブルースのスケールとコードの利用」／楽曲制作1-(3)
13	BGMの作曲法4「ジャズ風アレンジの活用・テンション」／楽曲制作1-(4)
14	課題曲1提出＆聞き合わせ／課題曲2要項紹介、楽曲制作2-(1)
15	BGMの作曲法5「特徴あるコードの活用」／楽曲制作2-(2)
16	BGMの作曲法6「モチーフとフレーズ」／楽曲制作2-(3)
17	BGMの作曲法7「音色による印象の違い、アレンジ」／楽曲制作2-(4)
18	課題曲2制作
19	課題曲2提出＆聞き合わせ／総評

教科書等	なし
成績評価	<p>課題楽曲提出70%、授業態度および学習意欲30%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	新潟市を拠点に作曲家として10年活動中。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	シンセサイザー概論		実務授業の有無	○
担当講師	真柄 伸彬		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース(DAW)

授業概要	シンセサイザーの基礎知識から、シンセサイザーソフトを使用した音作りを学んでもらう。初回は講義形式で音やシンセサイザーの基礎知識と仕組みを紹介する。その後はシンセサイザー・ソフトウェアである「UVI Falcon」を用いて各自シンセサイズの実習を行う。様々なシンセサイザーの音色レシピを具体的に紹介し、指定した音色を作成する課題に取り組む。最終的には目的の音をシンセサイザーを使って作れるようになること、さらに楽曲制作におけるシンセサイザー・アレンジを行えるようになる事を目標とする。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業概要説明、ガイダンス／シンセサイザーの基礎知識とシンセサイザーの仕組み
2	基本波形とその種類、オシレーター、フィルター、アンプリファイア
3	シンセサイズの波形変調／エンベロープ(ADSR)とLow Frequency Oscillator(LFO)
4	「UVI Falcon」の使い方紹介
5	オシレーター部の解説／作成課題①:ベル(Bell)トーン
6	フィルター、アンプリファイア部、ボイスイングの解説／作成課題②:Van Halen「JUMP」のシンセ・パッド
7	エフェクト部の解説／作成課題③:Europe「The Final Countdown」のシンセ・プラス
8	LFO部の解説／作成課題④:EDMのワブル・ベースサウンド(シンセ・ベース)
9	シンク・オシレーターとFM変調の解説／作成課題⑤:エレキギター風のシンセ・リード
10	後期授業概要説明、ガイダンス／DTMにおけるシンセサイザー・ソフトウェアの種類及びディベロッパーについて
11	作成課題①:効果音「嵐の音」(ノイズ・オシレーターとフィルターの使用)
12	作成課題②:宇多田ヒカル「automatic」のサイン波リード
13	モジュレーション・エンベロープについて／作成課題③ピッチエンベロープによる上昇と下降の効果音
14	作成課題④:Perfume「チョコレート・ディスコ」イントロのpluck synth
15	作成課題⑤:アレンジに合わせたシンセベースサウンド
16	楽曲中におけるシンセサイザー・アレンジの手法とその研究
17	シンセサイザーを取り入れたオリジナル楽曲の制作①
18	シンセサイザーを取り入れたオリジナル楽曲の制作②
19	応用編:他のシンセサイザーを初見で使ってみる「Vacuum」

教科書等	講義スライド「シンセサイザー概論」(講師制作)
成績評価	制作課題60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟市を拠点に作曲家として10年活動中。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ミキシング実習		実務授業の有無	○	
担当講師	山崎 亮		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	38	時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース	

授業概要	<p>ミキシングの基礎を学び楽曲の構造や演出の理解を深める。 基本的なプラグインの使い方を学び、デモ音源・楽曲のクオリティーを最大限に高める手法を習得する。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 データ形式やミキシングについての基礎知識
2	参考トラックを用いたミキシング ヴォリュームとパン
3	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・コンプレッサー/ゲート
4	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・イコライザー(楽器別の周波数の特性)
5	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・イコライザー(楽曲全体での周波数の特性)
6	参考トラックを用いたミキシング AUXトラック、オートメーション、プラグイン・リバーブ、ディレイ
7	参考トラックを用いたミキシング プラグイン・マキシマイザー、リミッター
8	課題トラックのミキシング ミックスダウン
9	課題提出 まとめ
10	後期動機づけ 授業の趣旨
11	プラグインの使い方の応用 複数のプラグインの組み合わせ サイドチェイン
12	マスタリングについての基礎
13	MIDIトラックの書き出し方
14	オリジナル曲のミキシング
15	オリジナル曲のミキシング
16	オリジナル曲のミキシング
17	オリジナル曲のミキシング ステムデータの書き出し データ確認
18	オリジナル曲のミキシング マルチデータの書き出し データ確認
19	オリジナル曲のミキシング ステムデータ・マルチデータ・2MIX提出

教科書等	なし
成績評価	<p>課題提出70%、授業態度および学習意欲30%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	EDIT実習		実務授業の有無	○
担当講師	井上 一郎		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	<p>ヴォーカル、楽器の録音後の編集技術を、直し・ミキシングなどをまとめて学ぶ。 自身の楽曲をレコーディングし、配布・販売できるクオリティに自身でできるようになることを目指す。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、レコーディングエンジニアの仕事について。
2	ヴォーカルレコーディング
3	ヴォーカルエディット
4	ヴォーカルエディット
5	ミキシング実習
6	ヴォーカルレコーディング
7	ヴォーカルエディット
8	ミキシング実習
9	前期まとめ
10	後期イントロダクション
11	レコーディング・エディット・ミキシング実習
12	レコーディング・エディット・ミキシング実習
13	レコーディング・エディット・ミキシング実習
14	レコーディング・エディット・ミキシング実習
15	レコーディング・エディット・ミキシング実習
16	レコーディング・エディット・ミキシング実習
17	レコーディング・エディット・ミキシング実習
18	レコーディング・エディット・ミキシング実習
19	後期まとめ

教科書等	特になし
成績評価	<p>課題に対しての取り組み80%、出席率20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>1987年～2003年、Studio TAKEONEにてアシスタントエンジニアとして勤務 2003年、故郷新潟にレコーディングスタジオを開設。2006年、株式会社エストライブ設立~代表取締役。</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	コード理論		実務授業の有無	○
担当講師	原 生真		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	作曲・編曲に必要な最低限のコード理論を学び、楽曲制作に生かす。主に楽典から紐解いてコード構成の仕組みや、コード進行法をインプットする。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業内容説明。和音構成の仕組み。
2	コードネームの意味から知る。
3	既存曲のコードを変える。
4	既存曲のコードを変える。
5	メロディーからコードを考えてみる。
6	メロディーからコードを考えてみる。
7	ディミニッシュについて深く知る。
8	オーギュメントについて深く知る。
9	前期の確認。
10	ベースラインからコードを構築する。
11	ベースラインからコードを構築する。
12	コード進行からおいしいカウンターメロディーを考える。
13	コード進行からおいしいカウンターメロディーを考える。
14	転調のしかた。
15	転調のしかた。
16	ベースラインの遊び方。
17	ベースラインの遊び方。
18	「sus4」「add9」のおいしい入れ方。
19	後期の確認。

教科書等	
成績評価	授業態度および学習意欲50% 楽典知識・技術力50%。 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟市を拠点にミュージシャン・作曲家として活動中。 ピアノ・ギターどちらも使用したアレンジメントなども担当している。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	アレンジメント		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	<p>編曲に必要な楽器のアレンジ、トラックごとのMIDIでの打ち込み方を学ぶ。 基本的なアプローチをレクチャーし、個性に合わせた応用方法を提示することにより質の高いオリジナル楽曲の制作へ発展させる。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 編曲についての基本知識
2	リズム楽器のアレンジ(ドラムス)基礎
3	リズム楽器のアレンジ(ドラムス)応用
4	コード楽器のアレンジ(ピアノ)基礎
5	コード楽器のアレンジ(ピアノ)応用
6	低音楽器のアレンジ(ベース)基礎
7	低音楽器のアレンジ(ベース)応用
8	コード楽器のアレンジ(ギター)基礎
9	コード楽器のアレンジ(ギター)応用
10	後期動機づけ 授業の趣旨
11	パッド系トラックのアレンジ(ストリングス・シンセ)基礎
12	パッド系トラックのアレンジ(ストリングス・シンセ)応用
13	リード系トラックのアレンジ(ストリングス・シンセ・ギター)基礎
14	リード系トラックのアレンジ(ストリングス・シンセ・ギター)応用
15	サウンドエフェクト系トラックの制作
16	楽曲の構成・展開・演出
17	楽曲の構成・展開・演出
18	課題曲制作
19	後期まとめ 課題曲提出

教科書等	なし
成績評価	<p>課題提出50%、授業態度および学習意欲50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作品制作		実務授業の有無	○
担当講師	佐藤 和音		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	<p>とにかく外に出していく作品を作りまくる授業です。 DAW組はサブスク配信、コンペ提出を目標に、SSW組は自身の持ち曲を増やすこと。</p> <p>毎回目標をしっかりと定め、自身の目標を達成するための制作時間とします。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業概要説明／目標設定
2	作品制作
3	↓
4	↓
5	第1回聞き合わせ
6	作品制作
7	↓
8	↓
9	第2回聞き合わせ
10	授業概要説明／目標設定
11	作品制作
12	↓
13	↓
14	第3回聞き合わせ
15	作品制作
16	↓
17	↓
18	第4回聞き合わせ
19	学科内発表会

教科書等	特になし
成績評価	<p>授業態度および学習意欲50%、テスト成績50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	ピアノ&ヴォーカルユニット「Cacis」のピアニスト・作曲家として新潟県を中心に13年活動中。

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	簡易PA実習		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	サウンドクリエイター科		対象コース	作曲・編曲コース

授業概要	<p>前期では簡易PA機材(YAMAHA STAGEPAS)をマスターし、小規模イベントでのPAが出来るようになることを目指す。後期ではさらに楽器の接続、ワイヤレスマイク、モニタースピーカー、デジタルミキサーなどさらに発展させた機材を使い、音響の知識・技術を深める。この授業を通じて学校内外での簡易的なイベントでPAが出来るようになることを目標とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション:音響・PAとは何か、音響機材の仕組みについて ケーブル巻き①、マイクスタンドの立て方
2	マイク、マイクスタンド、ケーブル、YAMAHA STAGEPAS 600i、スピーカースタンドを用意して音を出してみる
3	マイク・スピーカーの仕組み、ダイナミックマイクとコンデンサーマイク マイクスタンドの種類・立て方、ケーブル巻き②
4	アナログミキサーの使い方(YAMAHA EMX5014Cを使用して)① 基本編 (信号流れ、Mic Gain、Pad、Fader、Pan、ON、ST Master、PFL、AFL、Meter、Mono/ST、ヘッドホン、Amp内蔵)
5	アナログミキサーの使い方(YAMAHA EMX5014Cを使用して)② イコライザー・コンプレッサー編
6	アナログミキサーの使い方(YAMAHA EMX5014Cを使用して)③ エフェクト・AUX編
7	YAMAHA STAGEPAS 600iを使った場合やり方、Mic/Line/Hi-Z、ダイレクトボックスとは
8	YAMAHA STAGEPAS 600iを使いLiveを想定したセッティング
9	YAMAHA STAGEPAS 600iを使った仕込み・撤収テスト
10	前期の復習:YAMAHA STAGE PAS 600iを使いLiveを想定したセッティング、ケーブル巻き
11	ケーブルの種類(コネクター)について 電源について
12	YAMAHA STAGEPAS 600iで、カホン、ベースを用いた接続、音作り(DIを使う場合、使わない場合)
13	YAMAHA STAGEPAS 600iで、キーボード、アコースティックギターを用いた接続、音作り
14	ワイヤレスマイクのセッティング
15	モニタースピーカー(パワードスピーカー)を用意してカラオケ機を設置する
16	デジタルミキサー(YAMAHA 01V96)を使ったセッティング(YAMAHA 101Ⅲとマイクを使用)
17	デジタルミキサー(01V96)とラックセット(CD/MD、G.EQ、P.Amp)とパッシブスピーカーでのPA操作
18	デジタルミキサー(01V96)とラックセット(CD/MD、G.EQ、P.Amp)とパッシブスピーカーでのPA操作
19	デジタルミキサー(01V96)とラックセット(CD/MD、G.EQ、P.Amp)とパッシブスピーカーでのPA操作テスト

教科書等	無し。
成績評価	<p>期末テスト結果:50%、授業態度および学習意欲50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務</p> <p>ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務</p> <p>舞台機構調整技能士2級 合格</p>